

白神トピックス

自慢の健苗で育苗技術を競い合う

JA稲作部会

JAあきた白神稲作部会(堀内直富久部会長)は5月14日、苗の生育確認と生産者の育苗管理向上を目的に、管内3地区合同の健苗コンクールを実施しました。

コンクールには合計21点の健苗が出品され、JA営農指導員や能代市農業振興課職員などが、根の張り具合や苗揃えなど審査しました。その後、特に優れた健苗7点の充実度などを比較した結果、丑沢淳一さん(能代)の苗がみごと最優秀賞に輝きました。優秀賞・優良賞は以下の通りです。

▽優秀賞=加藤博正、戸松義盛、安井鐘悦

▽優良賞=小林智之、福岡幸正、畑山義徳



▲管内農家自慢の健苗が揃った



▲県内トップの産地を目指す

『白神りんどう』の産地強化へ

JAりんどう部会

JAあきた白神りんどう部会(菊地昇一部会長)は5月15日、能代地区の圃場で新規栽培者を対象にりんどうの定植講習会を開催しました。

講習会では、山本地域振興局職員から定植方法と今後の管理や病虫害防除などについて説明されました。定植作業では菊地部会長をはじめ、藤里地区のりんどう生産者が先頭に立ち、丁寧に植え方の指導をしていました。新規栽培者は、花き栽培が初めてでしたが丁寧に植え付けていました。初年度は株を養成するため収穫はありませんが、次年度の出荷に向けて新規栽培者のりんどう栽培がスタートしました。

女性の力を発揮しJAの良さを伝える

JA女性部

JA全国女性組織協議会は5月21日に通常総会が開催され、新理事・監事を承認した後、互選によってJAあきた白神女性部長の佐々木博子さんが副会長に選任されました。

JAあきた女性組織協議会の会長や東北・北海道ブロック長をも務め女性部の先頭にたっている佐々木博子さんは、「副会長に選任され、お祝いの言葉をいただきうれしさと強い責任を感じています。全国女性組織の代表として、秋田をそして地域を元気にするために仲間作りを大切に、女性の力で農業の大切さを全国に発信していきたいです。」と話してくれました。



▲副会長に任命された佐々木博子さん



▲犯罪から地域の方々を守ります

犯罪被害の未然防止に努める

JAあきた白神

特殊詐欺被害や子どもの犯罪被害防止を目的とする、「犯罪のおきにくい社会づくりに関する覚書」をJAあきた白神と農林中金、秋田県警と三者間で締結しました。

能代警察署で行われた出発式には、佐藤謙悦組合長やJA職員、能代警察署員ら約30名が出席し、佐藤組合長は「窓口での声かけやATMでの警戒活動の強化を能代署とさらに緊密に連携していきたい。また、子どもの安全対策も地域の重要な問題なので、声かけを積極的に行うよう指導していきたい」と地域及び組合員等利用者を守る取り組みを行っていくことを誓いました。